

# NR-W126 ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】  
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。  
本キットは以下の車種に対応します。  
・JR 西日本キハ126系  
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。(チラツキ対策を施しています。)

**！ 注意**

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】  
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】

- ・ライトユニット : 1個/セット
- ・穴あけガイドシール : 1枚/セット
- ・帯ブラ板(0.25t、幅0.8mm、長さ約15mm) : 1枚/セット

【その他】

- ・説明書(本紙) : 1枚
- ・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱




※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。  
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

- ・カッティングマット
- ・ピンセット
- ・ニッパ、ラジオペンチ
- ・プラスチックヤスリ
- ・両面テープ
- ・木工ボンド
- ・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラピー」など)
- ・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
- ・楊枝、綿棒など
- ・ピンバイス(0.3mm)
- ・精密ヤスリ(平、角、針ヤスリなど)
- ・ゴム系接着剤
- ・プラモデル用接着剤
- ・直定規
- ・塗装面を保護する柔らかい布
- ・ポンチ(ブッシュピンなどで可)
- ・サンドペーパー
- ・マスキングテープ
- ・瞬間接着剤
- ・塗料(黒)

## ● 取り付け手順

1. 分解する				2. 車体を加工する	
1-1 床板を外す	1-2 側窓を外す	1-3 前面窓などを外す	1-4 屋根を外す	2-1 天井に開口を作る	
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	側窓を、前面窓・妻窓との噛み合わせをコジって外します。	側窓を外すと、前面窓、貫通扉窓、妻窓が外れます。	屋根を、天井面サイドのツメを楊枝などで押して外します。	天井の前端の一段高くなっている部分を切り取り、幅2mm弱の開口を作ります。 ※前面・側面の上端を傷つけないように注意します。	
(2-1つづき)		2-2 ライトの穴をあける			
開口の断面を整えます。	穴あけガイドシールを切り出します。	穴あけガイドシールを、幕板に貼ります。	ライト穴の4隅に、ポンチで印を付け、0.3mmの穴をあけます。	4つの辺に、0.3mmの穴を多数あけ、カッターで間をつないで四角い穴にし、ヤスリで仕上げます。窓ガラスの内側となるので、多少ラフでも大丈夫です。	
(2-2つづき)			2-3 天井のリブを撤去する		
帯ブラ板を長さ1mm弱に切り、穴あけガイドシールの赤点線を目安に、ライト穴の外側より立て、プラモデル用接着剤で固定します。帯ブラ板の長さは、現物合わせで調整します。	加工でついたキズを黒の塗料でタッチアップします。また、ライト穴の断面、ライト穴の裏側周辺を、黒の塗料で遮光します。		天井裏側にある、2種3本のリブを削り取ります。まずニッパで多数の切れ込みを入れ、次いでラジオペンチでむしり取ります。最後に平ノミなどで平らにします。		
3. ライトユニットを取り付ける					
2-4 屋根を加工する	2-5 貫通路窓を加工する	3-1 貫通路窓をはめる	3-2 前面窓をはめる	3-3 ライトユニットを取り付ける	
屋根固定用のツメのうち、一番前のがライトユニットと干渉するので、ツメの前半を斜めに切り取ります。	貫通路窓上部のL字形に折り曲がった部分を切り取ります。窓上の丸印の下端を目安に切断します。	貫通路窓をはめ、両面テープで固定します。	前面窓をはめ、両面テープで固定します。	車体内側からライトユニットを当てがい、レンズを穴に差し込み、前面裏及び天井下面に両面テープで固定します。	

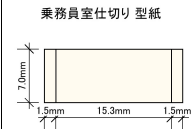


4. 配線する		
4-1 側窓の凸部にアルミテープを貼る	4-2 側窓下にアルミテープを貼る	4-3 側窓をはめる
		
5mm×7mmのアルミテープを4本用意します。側窓の内側・両端、ボディとの嵌合部の凸部にテープを貼ります。テープの先端が窓ガラスのリップに当たるようにします。はみ出したテープを側窓の外側に折り返します。綿棒や指でよく押さえ、凸部に馴染ませます。両側の側窓の両端、計4箇所の凸部に貼ります。	2mm×106mmのアルミテープを2本用意します。側窓の両端の凸部をつなぐように、テープを貼ります。両側の側窓に貼ります。	側窓をはめ、両面テープで固定します。次いで妻窓をはめます。
4-4 ライトユニットに配線する	4-5 側窓下を接続する	
		
1.5mm×30mmのアルミテープで、ライトユニットの給電パッドの通電の確保を期して、3mm×4mmのアルミテープを重ね貼りします。余ったテープは基板側面に折り込みます。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	ライトユニットの給電パッドの通電の確保を期して、3mm×4mmのアルミテープを重ね貼りします。余ったテープは基板側面に折り込みます。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	4-2のアルミテープと4-4のアルミテープを接続するため、2mm×12mmのアルミテープを、両者を覆うように貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

### ●室内灯を取り付ける場合

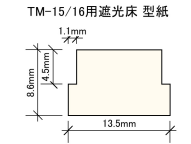



天井中央にある、丸い突起が邪魔になるので削り取ります。まずニッパで多数の切れ込みを入れ、次いでラジオペンチでむしり取ります。最後に平ノミなどで平らにします。

### ●乗務員室仕切りを取り付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1 棧を取り付ける	2 仕切りを取り付ける
<p>乗務員室仕切り 型紙</p>  <p>0.5mmのプラ板でパーツを作ります。(遮光に適した黒いプラ板を分売しています)</p>	 <p>乗務員室仕切りの棧を、乗務員室扉後部の壁の後よりに、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、前側の切口までL字形に貼っておきます。</p>	 <p>乗務員室仕切りを、棧の前側に設置します。</p>

### ●遮光床を取り付ける(動力ユニットを使用し室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1. 遮光床を取り付ける
<p>TM-15/16用遮光床 型紙</p>  <p>0.5mmのプラ板でパーツを作ります。(遮光に適した黒いプラ板を分売しています)</p>	 <p>動力ユニットのフレームの開口部に遮光床をはめ、両面テープで固定します。前後両端に取り付けます。</p>

